

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

わが国における自動ドアの普及は高度経済成長と足並みを揃えるペースで 1970 年代から広がりを見せ、当初は官公庁や銀行、ホテルといった大規模施設のみに設置されていたが、1980 年頃より全国的に普及し、飲食店や病院、学校など多様な施設で使われるようになり、今では全国の設置台数は 200 万台とも言われています。

そのような中で設置場所や用途に応じて自動ドアの種類も多様化し、最も一般的な引き戸だけでなく、二重引き戸や折れ戸、開き戸や、門扉といった様々な手動式のドアが自動ドア化されるに至り、その種類ごとに安全性の確保が求められるようになってきているなかで、六本木ヒルズにおける自動回転ドアの人身事故を契機として多様化した自動ドアの安全対策が求められるようになり、全国自動ドア産業振興会（以下「当会」と称する）では消費者保護を最重要課題と位置づけて、自動ドアの種類ごとに安全基準を策定し、その遵守徹底のため、施主や建設業者、メーカーや施工業者などに働きかけを行っていきます。

また自動ドアの種類に応じて消費者の安全な通行を確保するために必要な保守やメンテナンスを迅速に行える技能を持ったエンジニアを育成する事を目的とし、当会では独自に技能基準を策定し、その基準を満たしたエンジニアに対して「保守メンテナンス管理者」という任意資格を付与することで職業能力の開発を促すとともに、どのような種類の自動ドアに対しても保守やメンテナンスが可能なエンジニアを育成することで雇用機会の拡充の支援に尽力していきます。

さらに、自動ドアの設置場所の多様化に伴い、不特定多数の人が出入りする施設の開口部においては、災害時における通行者の安全確保を最優先にすべきとの観点から、自動ドア自体に、火災や地震といった災害時における非常時開放機能や非常時閉鎖機能、また高温でも機能が低下しない防火性能といった性能が求められるようになってきたため、当会では独自に耐火性能基準を策定し、自動ドア製品の耐火性能の有無の審査を行っていきます。

また我が国の長期目標として、2020 年に温室効果ガスを 1990 年比で 25%削減するという地球温暖化防止対策が掲げられている中で、ニューヨーク市（米国）においてはドアを開けたままでエアコンをつけると電力消費量が 25%増加し、二酸化炭素の排出量も増えることから、罰金を科してドアを閉めるよう呼びかけるといった取り組みがなされている事を受け、当会でもこのような諸外国の取り組み事例を参考とし、ドアの開放状態を自動ドア化することによって二酸化炭素の排出を防ぐことが出来るものと考えています。このような観点から自動ドアの普及促進活動を行っていきます。

さらに、障害者福祉や高齢者福祉を主たる目的とした、障害者や高齢者に優しいまちづくりを推進すべく、寄付金を財源とした自動ドア整備補助事業を実施します。障害者施設や高齢者福祉施設などにおいては自動ドア化されていない建物が多々見受けられ、車椅子や高齢者の方々などの通行を困難にしているのが実情です。東京都ではこのような実情を踏まえて「東京都福祉まちづくり条例」（平成 7 年 4 月 1 日施行）を交付し、特定の施設において自動ドアを設置するよう努力義務を課すとともに、その実現に伴う助成（通常は改修工事に要する工事代金の概ね半額程度の助成）を実施していますが、当会としては、このような地方自治体などの行政側のサポートに加え、当会の会員各社や一般の企業、個人を主たる対象として寄付金を募り、その寄付金を改修工事の財源に加えることで、完全無料での自動ドア化を実現し、高齢者や障害者を含めた全ての人々が、安心して快適に暮らせる街づくりの実現に寄与していくことが出来ればと考えています。

主な事業の具体的な活動は以下の通り。

- (1) 「福祉施設利用者の為の自動ドア設置事業」
自動ドアを必要とする車椅子の方々や高齢者の方々が頻繁に通行する福祉施設などにおいて、予算の都合などで自動ドア化が進んでいない施設を対象とし、会員各社及び一般の企業、個人からの寄付金を財源とした無償での自動ドア設置事業を行います。
- (2) 「地球温暖化対策の為の自動ドア普及推進事業」
ドアを開けたままでエアコンを使用し続けると電力消費量が 25%増加し、二酸化炭素の排出量も増えることから、当会では、ドアを自動ドア化することによって電力消費量を低減し、かつ二酸化炭素の排出を防ぐ事が出来る最善の解決策が得られると考えています。このような観点から自動ドアの普及促進活動を行っていきます。
- (3) 「自動ドアに係わる安全基準整備事業」
自動ドアによる人身事故を撲滅することを目的として、会員の中から選任された委員が定期的に安全基準委員会を開催し、安全基準の策定と運用を実施します。
- (4) 「自動ドアに係わる資格認定推進事業」
自動ドアの適切な保守管理による安全性の確保を目的としたエキスパートエンジニアを養成するため、当会が独自に認定する「保守メンテナンス管理者」の資格制度を運用し、年 2 回の資格試験の実施及び認定書の交付を実施します。
- (5) 「自動ドアに係わる防火性能評価事業」
当会に所属する会員が、国土交通省が認定する特定防火設備及び防火設備について、当該会員が製造販売する自動ドア開閉装置を、その副構成材として認定を取得する希望がある場合には、当会が定める防火性能基準により、その都度、防火審査委員会を開催し、当該製品の耐火性能の有無の審査を行います。

2 申請に至るまでの経過

2002 年 5 月 全国自動ドア産業振興会が設立される（設立時会員 23 社）

自動ドアが世界的に普及している状況に鑑み、自動ドア産業に携わる企業、団体、個人を、日本国内のみならず世界中から広く会員として募集し、国籍を超えたグローバルな協力体制を築くことによって、自動ドアの開発、製造、販売、施工、保守の各分野における統一した国際基準を策定し、もって自動ドア業界全体の健全な育成と発展を図ることで自動ドア業界を一つの産業へと育成し、これによって人類社会の発展（公益）に貢献することを目的とする。

全国自動ドア産業振興会は、会の目的を達成するため、設立後組織実態の整備充実を図りつつ、民法上の公益法人（社団法人）または中間法人上の法人（中間法人）に移行することを目指すとして定めている。法人への移行（会則第 8 章、第 27 条）

2002 年 7 月 全国自動ドア産業振興会設立総会開催される。

2002 年 12 月 経済産業省製造産業局を訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。

2003 年 4 月 年次総会開催、（2002 年度決算、事業報告、2003 年度予算、事業計画）。

2003 年 7 月 「自動ドア品質基準」「自動ドアの安全基準」「設計・開発管理規程」「自動ドア販売基準」「自動ドア施工基準」「保守契約ガイドライン」以上の「自動ドア基準書ブック」の初版完成。頒布を開始。

「安全通行ガイド」初版完成。頒布を開始。

2004年3月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者26名。
 2004年5月 年次総会開催（2003年度決算、事業報告、2004年度予算、事業計画を承認）。
 2004年7月 「自動ドア注意ステッカー」完成。頒布を開始。
 2005年5月 年次総会開催（2004年度決算、事業報告、2005年度予算、事業計画を承認）。
 2005年5月 戸袋側に貼付する指挟み注意ステッカー完成。頒布を開始。
 2005年10月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者19名。
 2006年3月 「スライド（横引き）式自動ドアの安全基準」及び「要約」初版完成。
 頒布を開始。
 2006年3月 経済産業省製造産業局を訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。
 2006年5月 年次総会開催（2005年度決算、事業報告、2006年度予算、事業計画を承認）。
 2006年10月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者10名。
 2007年1月 経済産業省製造産業局を訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。
 2007年5月 年次総会開催（2006年度決算、事業報告、2007年度予算、事業計画を承認）。
 2007年10月 経済産業省製造産業局訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。
 2007年10月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者10名。
 2008年5月 年次総会開催（2007年度決算、事業報告、2008年度予算、事業計画を承認）。
 2008年10月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者8名。
 2009年2月 国土交通省住宅局建築指導課訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。
 2009年5月 年次総会開催、（2008年度決算、事業報告、2009年度予算、事業計画を承認）。
 2009年7月 「検査済証」完成。頒布を開始。する。
 2009年10月 自動ドア「保守・メンテナンス管理者」試験実施 合格者10名。
 2010年1月 社団法人日本機械工業連合会の研究事業「センサにより制御される機械の子供
 に対する安全性に関する調査研究」に協力。振興会より野口哲也が安全基準の
 講演を行う。
 2010年3月 「ガラス衝突防止ステッカー」完成。頒布を開始。
 2010年4月 「スライド（横引き）式自動ドアの安全基準改訂版」完成。頒布を開始。
 「産業用スライド（横引き）式自動ドアの安全基準」と「要約」の初版完成。
 頒布を開始。
 「多重スライド（横引き）式自動ドアの安全基準」と「要約」の初版完成。
 頒布を開始。
 「電動式スライド（横引き）クローザの安全基準」と「要約」の初版完成。
 頒布を開始。
 2010年5月 年次総会開催、（2009年度決算、事業報告、2010年度予算、事業計画を承認）。
 全国自動ドア産業振興会をNPO法人化し、ますます公益に貢献することを議決。
 2010年5月 経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課を訪問。「自動ドアでの事故データ
 及び分析書」を提出。
 国土交通省住宅局建築指導課を訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を
 提出。
 消費者庁消費者安全課を訪問。「自動ドアでの事故データ及び分析書」を提出。
 2010年9月22日 特定非営利活動法人全国自動ドア産業振興会設立総会を開催する。（会員30社）
 以上

平成22年9月22日

特定非営利活動法人全国自動ドア産業振興会

設立代表者 住所 埼玉県日高市大字横手6番地
 氏名 吉原利美 印